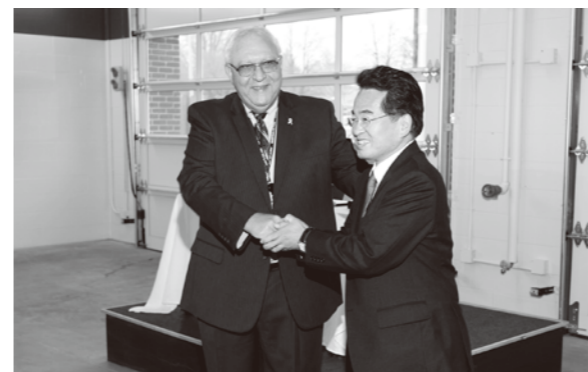


視察日程

日	時	視察先など
12月1日	午後	16:40コロンバス着 視察先へ ・オハイオ州議事堂視察
12月2日	午前	・市庁舎表敬訪問 友好宣言書調印式 メアリズビル市・ユニオン郡関係者へあいさつ 市庁舎視察 ・郡裁判所視察 ・警察署視察
	午後	・消防署視察 ・企業視察 ネスレ研究開発センター／ホンダ・ロック社 ・クリスマスツリー点灯式
12月3日	午前	・小学校訪問 ・観光施設視察(カヴァードブリッジ)
	午後	・企業視察 ホンダ・オブ・アメリカ・メアリズビル工場／ オート・ツール社(株)兼松 ・ユニオン郡関係者との意見交換 ・メアリズビル高校生の発表鑑賞 ・高校女子バスケットボールリーグ観戦
12月4日 ～6日	—	・帰国挨拶 21:00寄居町着

寄居町友好都市提携に向けた視察団 メアリズビル市を視察



昨年の12月1日から6日にかけて、アメリカ合衆国オハイオ州ユニオン郡メアリズビル市に、町長を団長とする町の各分野の関係者ら9人による視察団が派遣されました。これまで両市町間で国際交流事業を実施するための準備を進めてきており、9月にはメアリズビル市長を含む3人の関係者が町を訪れ視察を行いました。詳細については本誌10月号をご覧ください。

今回は、町の視察団がメアリズビル市で視察した内容を皆さんにご紹介します。



▲市庁舎会議室でメアリズビル市・ユニオン郡の関係者から説明を受ける視察団

市・郡の関係機関を視察
友好宣言書調印式の後、市庁舎内の会議室へ場所を移し、市長および市議会、市の属するユニオン郡の関係者の方々へあいさつするとともに、町についての紹介をしました。

ユニオン郡はオハイオ州に88ある郡の一つで、人口は約5万2千人、面積は約1,100 km²です。メアリズビル市はその郡庁所在地で、郡の人口の4割に当たる約2万2千人が生活していることから、郡と非常に密接な関係にあります。今回の視察も、メアリズビル市だけでなく、郡関係者の皆さんの全面的な協力のもとで行われました。

市への表敬訪問と友好宣言書の調印

視察団は12月1日に日本を出発し、オハイオ州の州都コロンバスに午後5時ごろ到着しました。空港では市長をはじめ、関係者の方々の温かい歓迎を受け、メアリズビル市出身の州議会議員の方から議会活動等の解説を交えて施設案内をしていただきました。

翌12月2日は、市への表敬訪問と友好宣言書の調印のため、市庁舎を訪ねました。庁舎では、市職員や住民の方に拍手で迎えられ、町長があいさつをしました。また、今回の視察で両市町が互いの自治体を視察することを認め、今後、友好都市提携に向けた交流活動を進めていくことを確認するための友好宣言書に、両視察団の団長である町長・市長が署名を行いました。



▲友好宣言を報じる地元新聞



▲メアリズビル市警察署内 視察団員等紹介
前列左から3人目新井教育委員、佐藤副議長、稲山議長、ゴア市長、島田町長、柴崎商工会長、豊田男女共同参画懇話会長、松本スポーツ少年団本部長、事務局他

メアリズビル市には警察、消防が市の組織としてあることから、市庁舎のほか、警察署、消防署と郡の裁判所を視察しました。市庁舎は昨年整備されたばかりの新しい建物で、施設内には職員の働く事務室、市議会の議場のほか、警察・消防職員のトレーニングルームも備えており、約160人の職員が勤務しています。

また、施設は簡素化・電子化が進み、消防署ではモニターを介したテレビ会議の様子を視察しました。

クリスマスツリー点灯式に参加

12月2日の夕方は、毎年中心市街地で盛大に開催されるクリスマス祭へ参加しました。郡の裁判所の庭にはクリスマスツリーのシンボルとなるクリスマスツリーが飾られ、市民の合唱隊の歌声が響く中、点灯のセレモニーが行われ、市民の方々に前に視察団員が市長から紹介を受けました。

友好都市提携に向けた視察団 宣言書調印式 寄居町長 祝辞

寄居町の視察団を代表し、ごあいさつを申し上げます。

まず、メアリズビル市を訪れ、ゴア市長以下皆様とお会いできたことを光栄に思います。また、日本では、1841年、今から170年ほど前、日本人として初めて、貴国において教育を受け、両国の懸け橋となったジョン万次郎が有名ですが、今ここに、私たち使節団が、日本人として、ホンダを縁として、21世紀の新たな交流の使命をもち、こうしてあることに、深い感銘を抱くものであります。

私は、世界の歴史におけるアメリカ合衆国の幾多の偉業を、尊敬してやみません。特に1776年、世界が産業革命を迎える中、アメリカ独立宣言がなされ、現代市民社会の思想的原点を生み出したこととあります。さらには、1863年のリンカーン大統領による奴隷解放宣言であります。

さて、これから始まろうとしている教育やスポーツをはじめとする様々な分野での私たちの国際交流は、両市をさらに活性化させ両市民に多くの恵みをもたらすことと致し。今日の国際社会は、様々な分野で大きな変動をきたしておりますが、その解決には、新たな思想に基づく、人類の行動が求められております。

こうした状況下、日米国家間のこれまでの友好交流を基盤とし、育まれる私たちの交流の絆は、きっと日米間の21世紀の市民交流のモデルとなることと致し。そして同時に世界市民としての新しい可能性を生み出すものと確信しております。

今、私は、ジョン・F・ケネディー大統領の就任演説のこの言葉を思い起こします。「国家が諸君のために何が出来るかを問わないで欲しい——諸君が国家のために何が出来るかを問うて欲しい。」
(My fellow Americans, ask not your country can do for you; ask what you can do for your country)

アメリカ合衆国における古来からの純粋なアメリカ人魂を、そしてその優れた人間としての美徳を、今もなお受け継ぎ、継承し続ける、すべてのメアリズビル市民の皆様と、私たちとの交流をとおり、両市民のためだけでなく、両国間のためだけでなく、世界のためにこうして歩み始められることを、感謝します。

そして、私たちのこの歩みが、世界人類の希望への道となりますことを願いつつ、ご挨拶とさせていただきます。

